

## 岡山森林管理署が発注する森林土木工事における入札不調等に対する当面の対策について

1. 対象工事
  - ・平成 31 年 2 月 1 日以降公告の平成 30・31 年度森林土木工事。
2. 発注等級区分における競争参加資格要件の緩和
  - ・A ランクの工事においては、従来の A、B 等級の業者に、資格点数 990 点以上の C 等級の業者を加えます。
  - ・B ランクの工事においては、従来の A、B、C 等級の業者に、資格点数 870 点以上の D 等級の業者を加えます。
3. 配置予定技術者の「同種工事の実績」の緩和
  - ・配置予定技術者の競争参加資格について、治山工事の同種工事の施工実績に、「砂防事業における河川・砂防工事、又は河川・砂防改修工事」を追加します。
4. 余裕期間制度の積極的活用
  - ・工期については、工事の性格、地域の実情、自然条件、週休 2 日の確保等による不稼働日数等を踏まえて適切に設定のうえ、工期に制約があるものを除き、余裕期間制度(任意着手方式、フレックス方式)の積極的活用に取り組みます。
5. 適切な工事規模の設定
  - ・技術者の不足が想定されるため、できるだけ発注ロットを拡大します。
6. 諸経費関係
  - ・施工箇所が点在する工事については、森林整備保全事業設計積算要領等の細部取り扱い「施工地域が点在する工事の間接工事費の積算方式」を適宜活用します。
7. 地域内からの建設資材調達に係る設計変更
  - ・通常地域内から調達する砕石や土砂等の建設資材の購入、輸送費等の調達に要する費用について、当初設定していた調達条件と実行段階での調達条件の相違により、実勢単価と乖離が認められる場合は設計変更できるものとします。
  - ・なお、資材価格の高騰によるものにあつては、単品スライド条項を適切に活用します。
8. 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更
  - ・通常地域内から調達する砕石や土砂等の建設資材の購入、輸送費等の調達に要する費用、通常特定の所在地から調達する仮設材の輸送費等の調達に要する費用について、工事実施段階で当初の調達条件では調達が出来ず、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合に輸送費や購入費用など調達の実態を反映して設計変更できるものとします。
9. 地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更
  - ・工事箇所近隣だけでは労働者等を確保できず、遠隔地からの労働者で対応せざるを得ない場合に追加が必要となる赴任旅費や宿泊費、通勤に係る高速料金等について、標準的な積算基準を上回って必要となる分を設計変更できるものとします。
10. 工事支障木の伐採や処理に要する経費の設計変更
  - ・工事支障木の伐採やその処理について、森林整備保全事業標準歩掛を適用している場合に、工事実施段階で当初の設計とその方法や適用歩掛に乖離が認められる場合は設計変更できるものとします。
11. 見積もりを活用する積算方式
  - ・発注者の積算との乖離が大きく、入札の不調・不落となった工事若しくはその恐れがある工事において、直接工事費及び共通仮設費の一部について見積もりの提出を求め、再公告時の予定価格作成の参考とすることができるものとします。